

地域ぐるみで、支えよう！  
近隣保健福祉ネットワークづくり

5月22日、「在宅福祉アドバイザー・民生委員・地区社会福祉協議会長（館長）の合同研修会」が、薩摩農村環境改善センターで開催されました。

「平成19年度在宅福祉アドバイザーの証」が交付された在宅福祉アドバイザー234人は、アドバイザー制度や近隣保健福祉ネットワーク事業、高齢者ふれあいサロンなどについて研修をしました。

時吉地区社会福祉協議会の田中俊徳会長による「近隣保健福祉ネットワークづくり」についての事例発表では、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯、身体の不自由な方など援助を必要とする方々への声かけや安否確認の体制について学びました。



近隣保健福祉ネットワークについて研修する在宅福祉アドバイザー

「脳のすこやか塾」はじまる

6月6日、さつま町老人福祉センターいぬまき荘で、「脳のすこやか塾」がはじまりました。

これは、介護保険の地域支援事業のひとつとして、東北大学・川島隆太教授とスズミエが共同開発した「脳の健康教室」読み書き・計算の脳のトレーニングで認知症を予防するものです。11月までの6ヶ月間、毎週水曜日の午前中に講習を受けたボランティアの学習サポーターと一緒に簡単な読み書き・計算を中心とした学習を行います。教室についてのお問い合わせは、

さつま町地域包括支援センター  
（役場本庁すこやか長寿課内）  
☎52・4690までお願いします。

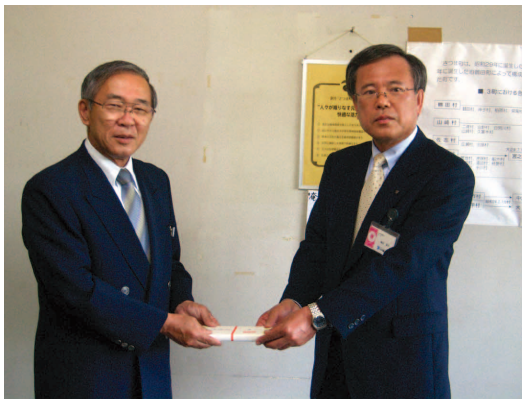


脳のすこやか塾で学習する受講生

九州電力株式会社川内営業所  
図書カード贈呈

社内表彰制度に基づく「無災害記録賞 第一種」（5年間無事故・無災害）の社長賞を受賞された九州電力株式会社川内営業所から、「表彰に伴う副賞金を昨年7月の県北部豪雨災害で被災した本町の子どもたちのために役立てて欲しい」と、5万円分の図書カードが贈呈されました。

この度のご厚意を受け、本町では被災にあった子どもたちのために、図書を購入させていただきます。



福満教育長へ図書カードを贈呈する九州電力株式会社川内営業所の園田範夫所長（右）

大園トミエさん  
手作りほうきを寄贈

船木の太園トミエさんから役場と町内の学校に庭ぼうきをいただきました。いただいたほうきは全て手作りで、ひとつひとつ丁寧に作られています。大園さんは町内だけでなく、近隣の公共施設や学校でも役立ててもらいたいと、毎年ほうきを作ってくださいたいです。



大園トミエさんと手作りほうき